

きらめき NEWS

VOL. 12 (2025. 3)



山極 壽一さん

コミュニケーション

人間は、共有や共感、意思の疎通を繰

り参加されました。当日は、ゴリラに学ぶ地域のコミュニケーションの再構築をテーマに、人間の進化の中から見えてくる今の人間社会のつながりや社会全体で子育てを行う大切さなどについて講演され、319人の方が参加されました。

男女共同参画推進事業 文化講演会「ゴリラに学ぶ」

人口減少や高齢化が早く進む周防大島町で、今年度、女性の力で集落や地域の活性化を図ろうと取り組んでいるNPO法人周防大島ふるさとづくりのん太の会（安元稔理事）が、研修の一環として、1月11日にゴリラを研究する霊長類学者の山極壽一さんを講師とした講演会を開催されました。

人口減少や高齢化が早く進む周防大島町で、今年度、女性の力で集落や地域の活性化を図ろうと取り組んでいるNPO法人周防大島ふるさとづくりのん太の会（安元稔理事）が、研修の一環として、1月11日にゴリラを研究する霊長類学者の山極壽一さんを講師とした講演会を開催されました。

共有できないはずの感覚

人間の五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）は共有しやすい感覚ですが、触覚、嗅覚、味覚は共有が難しい感覚です。

視覚と聴覚は共有しやすい感覚ですが、触覚、嗅覚、味覚は共有が難しい感覚です。

集団規模とコミュニケーション

人間の脳はゴリラの3倍はあるのですが、大きくなった理由に、集団規模が大きくなったことが関係しています。仲間の数を増やしたことで、仲間の性質を理解し、それを記憶として脳に収めるために脳は大きくなったと言えます。そして、脳の大きさによって集団のサイズが変わっていたことが分かりました。

例えば、サッカーやラグビーなどのスポーツ集団は11〜15人くらいで、ゴリラの集団と同じくらいの数です。スポーツ集団は、練習や試合では声だけや身振



ご寄付のお願い

“みんなの笑顔がきらめく”山口県へ!



当財団では、企業や県民の皆様からの貴重なご寄付により、地域づくりをはじめ、男女共同参画、文化など、幅広い分野にわたって県内で活動している県民活動団体を支援していますので、ご寄付にご協力をお願いいたします。

寄付の申込

◆クレジットカード払い

右記2次元コードから、決済手続きにお進みください。



◆銀行振込

手数料無料の専用の振込用紙により、最寄りの銀行からお振込みください。(振込用紙は当財団にご請求ください)

※当財団への寄付金は、税の優遇措置を受けられます

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0021
山口市桜島三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2階
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096
メール info@y-kirameki.or.jp



セミナー・イベント レポート

■きらめく団体交流会

今年度、新たに、県民活動団体や県民活動推進委員等が、情報交換を通して団体同士の繋がりを深めてもらう「きらめく団体交流会」を柳井市（12/7：みどりが丘図書館）と山口市（1/25：パルトピア山口）で開催しました。

まず、防府市市民活動支援センターの京井和子センター長を講師に、自身が活動を始めたきっかけ、いろいろな方との繋がりの輪を上げた経緯、活動を行う上でのポイントなどをお話ししていただきました。

その後、柳井会場では、グループ内で自己紹介をした後、「あなたの活動の原点」「活動の中で大事にしていること」をグループ内で話し合いました。違う活動をしている団体同士でも、きっかけや原点、大事にしていることに多くの「共通点」があり、それぞれの立場で地域に貢献していることが分かり、大変盛り上がりました。

山口会場では、全体で自己紹介をしてお互いの団体や活動について理解を深めた後、「協働して1つの企画を行うとしたら、どんなことができるか」をテーマに話し合い、自然体験と食のコラボイベント、森の音楽フィルムフェス、バードウォッチングやコラボ発表会など、各団体のノウハウを活かした企画案が出来ていました。

両会場とも、日頃接点のない団体同士が同じテーブルを囲むことで交流が深まりました。



柳井会場



山口会場

■女性リーダー候補者と男性管理職の意見交換会

山口県経営者協会と連携して、職場等での女性活躍を促進するための「女性リーダー養成セミナー」（全4回：9～12月）と「女性活躍のための男性管理職セミナー」（全2回：11～12月）を山口市（山口県健康づくりセンター）で開催しました。

最終回は、両セミナーの参加者52人が一堂に会し、それぞれの立場での本音をシェアする意見交換会を行いました。

グループごとに女性リーダー育成に関する課題や悩みを挙げてワールドカフェ形式で共有し、挙げた課題等に対する具体的な解決策をグループごとにまとめてポスターセッション形式で発表しました。

参加者からは、「双方の生の声を聴くことが出来て良かった。お互いの必要性を強く感じた」など大変好評でした。



財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
3/15(土)	県民つながるカンファレンス	やまぐち県民活動促進実行委員会	パルトピア山口
5/29(金)	助成金交付式	山口きらめき財団	防長苑

(秋吉台国際芸術村)

開催日	イベント名	料金	時間
4/23(水)～25(金)	第14回秋吉台音楽コンクール 弦楽器部門	観覧無料	10:00～(予定)
4/26(土)	秋吉台の響き スペシャルコンサート	一般3,000円、大学生以下1,000円、当日券500円増	15:00～
5/24(土)	クァルテット・インテグラ リサイタル 第3弾	一般2,500円、学生1,000円	14:00～

り手振り、体の動きで仲間に自分の意図を伝え、仲間はその悟って動きます。ゴリラも仲間の動きを察して行動しますが、これが体の共鳴です。

次に、人間の脳が大きくなり始めた200万年前は30～50人の集団でしたが、これは学校のクラス人数が当てはまり、顔と性格が一致しているため集団が分裂せずにまとまる数です。

そして、現代人の脳は1400cc、1600ccの大きさで、150人くらいの集団規模になります。この数字はソーシャルキャピタル(社会関係資本)で、自分がトラブルに巻き込まれたり、不安や悩みを抱えたりしたときに相談できる相手の数の最大値です。

つまり、私たちは大昔に作られた脳で現在も生きていますので、SNSやインターネット上では信頼できる仲間は作れません。

○共同保育

人間は、進化の過程で安全で食物も豊富な熱帯雨林からサバンナに出てきましたが、子どもたちが肉食動物に襲われて絶滅する危険に対処するため、子どもを早く産み育てる必要に迫られました。そこで、赤ちゃんを早く乳離れさせる離乳食を考え出し、離乳期を支えるため

に、父親も子育てを行い、さらに周囲の人間も参加する共同保育が始まりました。

しかし、現在、父親の育児参加も増えてはいますが、まだ母親の負担が大きい状況です。母親の負担を減らすということは、みんなが育児に関わらないといけません。

人間社会の基本は、「家族」と複数の家族が集まってできた「共同体」です。子育てをみんなで分かち合ったことで共感性が生まれ、動物にはない社会性ができました。例えば、ゴリラは、自分の食物を渋々仲間に分け与えるのですが、人間は自分だけでなく他の人の分まで食物を確保する、つまり相手を思いやるという気持ちを伴います。現代においても、共同体として、思いやりをもって地域で子育てに協力する必要があると思います。



県民活動推進委員リレーコラム Vol.9

「鳳鳴やまさと会」

宮崎 豊久さん
(鳳鳴やまさと会：美祢市)

「おーい！草刈るぞー」の掛け声に集まったメンバーが鳳鳴やまさと会を結成しました。



平成24年に鳳鳴小学校が閉校し、主を失った小学校は草が生い茂り荒れ放題となり、見かねた地元の卒業生が母校の草刈りを始めました。これがきっかけで、教育委員会から小学校を交流センターとして管理・運営してくれないかと相談され、「鳳鳴地域交流センター」を平成27年から指定管理しています。

あれから10年が経ち、その間、わずか180人にも満たない小さな山里は、廃校跡の交流センターを拠点に、「ダンスバトル」「音楽祭」「アートフェスタ」

「フリーマーケット」「ほたる祭り」など、地域の賑わいづくりとなるプロジェクト・イベントを展開してきました。

また、平成29年には「ドローンパーク」がオープンし、多くのドローンパイロットを輩出しました。令和2年には、県民活動きらめき賞を受賞し、活動の励みとなっています。

3月20日には「山口フリマ市場」を開催します。小さな山里は大きな誇りと希望を持ってとどまることなく邁進しますので、乞うご期待ください！！

